

## 守山区上志段味学区 災害時の特性と対策

南海トラフ巨大地震が発生した場合、最初に震度5弱から6弱の揺れが想定さ れます。

風水害(台風や大雨)の場合、庄内川沿いの地域では河川氾濫による浸水も想 定されています。日頃から自宅の浸水想定を確認しておき、災害時に自宅が危険 であれば、気象情報や避難情報に注意して早めの避難を心掛けましょう。

避難する場合、野添川やため池などの危険箇所に注意するとともに、液状化現 象によって建物が傾いたり、道路の一部が沈んだりする可能性もあるので、安全 な経路を確認し避難しましょう。

#### 風水害時における避難情報

警戒レベル	状況	住民が取るべき行動	行動を促す情報
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保*1
<u> </u>			
4	災害の おそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示釒
3	災害の おそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨·洪水·高潮注意報 (気象庁)
1	今後の気象状況悪化 のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報 (気象庁)

- ※1 市が災害の状況を確実に把握できるものでない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではない
- ※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり危険を感じたら自主的に避難するタイミングでもある (注) 避難指示は、令和3年の災対法改正以前の避難勧告のタイミングで発令する

非常持ち出し袋と 避難する際に持ち出す 食料も準備しましょう! 日頃から水や食料を準備して おきましょう。めがね・入れ歯・ 持病の薬も忘れずに!



### 避難する時に持っていくもの

□ 携帯ラジオ □ ヘルメット・防災ずきん □ 軍手 貴重品 □ 現金(小銭も必要) □ 預(貯)金通帳の写し □ 健康保険証・免許証の写し □ カード類 □ 認印・印鑑など

照明等 □ マッチ・ライター

防災用品

□ 懐中電灯(電池含む)

医療用品 □三角きん

□ 包帯・ガーゼ □ ばんそうこう □消毒薬

□ はし・スプーン

□ 紙皿・紙コップ

□ 水筒

□ ウェットティッシュ(ティッシュ)

□お薬手帳 衣料品

□ 衣料(着替え)

□ タオル(大小2種類)

便利用品

□ 筆記用具 □ 新聞紙

□ 携帯用トイレ □ キッチン用ラップ

□ 使い捨てカイロ □ 雨具

□ 手動携帯電話充電器 □ トイレットペーパー 感染対策用品

□ アルコール消毒液 □ スリッパ □ 体温計

□マスク □ ゴミ袋 その他

(個人的に必要なもの) □ ミルク(粉・液体)

□ 紙おむつ □ 牛理用品

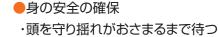
□ 予備のメガネ 補聴器など

□ ペット用品 (エサ・水など)

# |地震発生! 震災時の対応

## 揺れた

大津波警報発表





・安全に消せる場合は火を消す ・家具や家電の転倒や落下、ガラスの破片などに注意







丈夫な机がない時は、クッショ ン、かばん、ナベなど身近にあるもので頭を守りましょう

安全にすばやい避難 行動をとるためにも、 自宅の耐震化や家具 の転倒防止対策は日 頃からしっかり進め ておきましょう

#### 揺れが おさまった

- ●怪我をしないように靴やスリッパをはく
- ●家族の安否・家屋の被害状況の確認
- ●出入り□の確保
- ●テレビ・ラジオやスマートフォンなどからの正しい情報の入手
- 事業常持ち出し品の準備
- ◆地域には、町内会・自治会単位に結成された自主防災組織があり、災害時に初期消火・救 出救護等の活動を行います。地域の被害を小さくするため、自主防災組織の活動にご協力 をお願いします。

### 災害の危険解消

#### 自宅での滞在が可能か







避難先へ

# 自宅に住めるなら、なるべく自宅で避難生活を!

避難所は、不特定多数の方が避難生活を送るため、環境の変化とともに大き な負担がかかることが想定されます。火災や家屋倒壊などの危険がない場 合は自宅で避難生活を続ける「在宅避難 | を考えましょう。その際は、下記の ことを心がけましょう。



高齢者や障がいのある方などが 取り残されていないか確認しよう!



周囲に在宅避難を 知らせよう!



周囲で声かけし、食料や 物資を分け合おう!

## 避難先へ安全に避難するための6つのポイント

●ガス・水道の元栓 を閉め・ブレー カーを切る!

4原則徒歩で!

(渋滞抑止・高齢者や

障がいのある方など

の避難を妨げない)





のある方などの 避難誘導を!

❸高齢者や障がい



6 木造住宅密集地 やがけ地は避け、 川の近くへ行く 時は注意を!



⑥二次災害に気を つけながら消火・ 人命救助の手伝

